

修了生の活躍事例

四国職業能力開発大学校への進学がモノづくりの魅力を高めてくれた！

小さいころからモノづくりに関わる仕事に就きたいとの思いから、実際に機械に携わり、CAD等で自ら作成した図面に基づき、加工することができる四国職業能力開発大学校への入学を決めました。

四国職業能力開発大学校の生産機械システム技術科（応用課程）に進学後は、モノづくりの一連の流れとして、設計に必要なツール学習、製作実習にて自ら加工して部品を製作、組み立てでの製品化を行いました。

四国職業能力開発大学校で学んだ図面・加工の知識が現場で活かされています。

株式会社タダノ 試験研究部

田内 亮太 さん (25)

四国職業能力開発大学校
応用課程
生産機械システム技術科

平成30年度 修了



開発課題をやり遂げチームワークの大切さを実感！

車好きの田内さんは、学生時代も車をテーマとした開発課題(卒業研究)「超小型モビリティの開発」に取り組みました。車体本体はもちろん、ナビゲーションシステムや障害物検知も取り入れ、走行できるまでに仕上げました。自分たちの力でやりとげることができ、非常にうれしく、大きな自信となりました。また、チームワークの大切さも実感しました。



開発課題で製作した超小型モビリティ

試験の評価につながる社内基準を見直したいと思っています。

「社内基準の中には、人の感覚に頼る官能評価の部分がまだ残っています。あいまいな基準ではなく、数値化をすることで、根拠のある試験評価ができればと考えています」と、業務改善にも意欲的です。田内さんの仕事に対する原動力は、自分がイメージしたものを形にしたいという思い、まさに「モノづくりの魅力」そのものです。四国職業能力開発大学校で学んだすべてが、現在の仕事に役立っています。

就職先企業での活躍

田内 亮太さんの業務

試験研究部LE試験第1ユニットに所属しており、製品の高い品質と安全性を確保するため、試作機を使い、様々な測定や試験を行っています。



クレーン車に測定機器を取り付ける田内さん▶

上司からの声 試験研究部 井上 康彦 様

四国職業能力開発大学校で実習を通して学んだ、図面・加工の知識をデザインレビュー等で活かして、より良い製品作りへの一翼を担ってほしい。

また、一人ではできないこともチームワークで難関を突破できる中心的な存在になることを期待しています。



株式会社タダノ (香川県高松市)

現在四国職業能力開発大学校の修了生が活躍

株式会社タダノは、1955年に日本初の油圧式トラッククレーンを開発。建設用クレーンでは国内トップシェアを誇り、海外でもグローバルに事業を展開しています。本社は高松市新田町。三本松試験場では、製品化前の試作機を使って、様々な測定や試験を行っています。

(製品例)

- ・建設用クレーン(製品概要、販売実績等)
- ・高所作業車(製品概要、販売実績等)
- ・車両搭載型クレーン(製品概要、販売実績等)

